



ひまわり



お薬手帳を活用しよう！

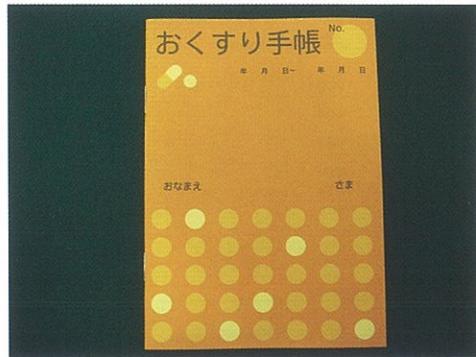
どんなに良い薬でも使い方を誤れば、思わぬ事態を引き起こすことがあります。「お薬手帳」があれば、飲み合わせの悪い薬が出ていないか、副作用を起こしそうな薬が出ていないかなどをチェックすることができます。日頃からお薬手帳を活用することで、薬を安全・適切に使用することができます。今回はお薬手帳について当院の薬剤師：飯村康一さんに話をうかがいました。



薬剤師：飯村康一さん

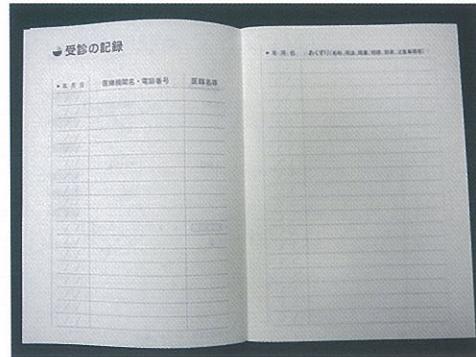
Q：「お薬手帳」とはどのような手帳ですか？

A：処方された薬の名前や飲む量、飲み方、回数、アレルギー、副作用歴などの記録を残すための手帳です。この記録があると、医師・薬剤師が、正確に服薬歴や薬物アレルギーなどを把握することができます。



Q：どのように活用したらいいのでしょうか？

A：病院を受診するときや入院するとき、また薬局で薬をもらうときにお薬手帳を見せてください。当院でも、患者さんが入院されたときに、お薬手帳から薬のアレルギーや飲み合わせ、薬が重複して処方されていないかなど確認しています。アレルギーがある場合には、主治医などに情報提供し、入院中に処方されないような対策をとっています。



Q：お薬手帳を持つメリットは何ですか？

A：①薬の飲み合わせをチェックすることができます。
②副作用の予防に役立ちます。
③急な病院受診のときにも薬の確認ができます。

Q：他の薬局のお薬手帳を出してもいいのでしょうか？

A：複数の医療機関や薬局に行くと、その都度新しいお薬手帳を渡されることがあります。お薬手帳は、何冊もあると薬の飲み合わせなど必要なチェックができなくなるので、1冊にまとめましょう。お薬手帳は積極的に提示して記録してもらうと良いでしょう。

Q：最後にひとことお願いします

A：お薬手帳は普段から持ち歩くことが大切です。東日本大震災のときもお薬手帳によって何の病気でどの薬が必要か一目でわかり、同じ薬がなくても入手可能な代替薬を処方することができたそうです。このように薬を安全に使うため、そして、もしもの時にも役立つ「お薬手帳」を持たれてはいかがでしょうか。

Bazaar バザー開催

4月17日、エントランスホールにてバザーが開催されました。皆様のご協力により、18,925円の収益がありました。年間を通じてのボランティア活動費に充てさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。



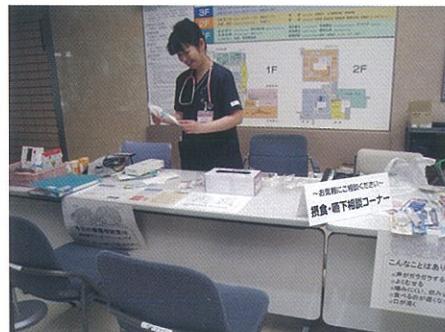
看護週間にイベントを開催～5月12日は看護の日～

5月15日、1階エントランスホールにて看護週間のイベントが開催されました。

各ユニット紹介のポスター掲示コーナーや、看護師による血圧測定、認定看護師による「摂食嚥下相談コーナー」と口腔ケアグッズの紹介、介護用品やおむつの種類とあて方、選び方のコツ(ポスター紹介と、実物の展示もあり)、そして毎年恒例であり大人気のアロマハンドマッサージのコーナーなどなど、楽しくてためになる展示物がたくさんありました。



アロマハンドマッサージ



摂食嚥下相談コーナー



血圧測定

受付



介護用品の紹介



介護用品の展示



おむつに関する情報コーナー

「今からリハビリだけど、ちょっと覗きに来たよ。」と展示物を見てくださっていた患者様、「リハビリで疲れちゃったから、癒してもらうわ。」と看護師と談笑しながらアロマハンドマッサージでリラックスし病棟にお帰りになった患者様、摂食嚥下相談コーナーでは認定看護師に色々と話を聞いている患者様の姿もありました。

皆様のご協力により、患者様や来場者の方々に楽しんでいただくことができました。本当にありがとうございました。

来年も企画していますので、皆様ぜひご参加ください。😊